

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2010年1月1日～2020年12月31日の間に呉医療センター外科及び共同研究機関において、肝腫瘍に対して肝静脈の合併切除再建を伴う肝切除術を受けた患者さん			
② 研究課題名	肝腫瘍に対する肝静脈再建を伴う肝切除の短期・長期成績の検討			
③ 実施予定期間	2023年9月～2024年10月			
④ 実施機関	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	貞森 裕	所属	福山市民病院 外科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	尾上 隆司	所属	呉医療センター 外科
⑦ 使用する情報・試料	<p>収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、肝腫瘍の種類、手術術式、肝静脈の再建法、手術時間、出血量、術中・術後合併症の有無とその内容、術後入院日数、肝腫瘍再発の有無と時期</p> <p>※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は研究事務局および当院の研究担当者両方によって保管されます。 ※当院の研究者、研究代表者・副代表者、研究事務局、などが情報を取り扱います。</p>			
⑧ 目的	<p>肝腫瘍に対する肝静脈の合併切除再建を伴う肝切除を安全に施行することは、治療成績を向上できますが、通常の肝切除に比べて高いリスクも有しています。そして、これまでの報告は単施設からの検討のみで症例数が少なく、日本全体としての症例数・手術適応や手技・術後成績は検証されていません。そのため、日本肝胆膵外科学会のプロジェクト研究として、日本全国の肝腫瘍を有する患者さんを対象とさせていただき、肝腫瘍に対する肝静脈の合併切除再建を伴う肝切除術の手術適応/手技・短期および長期成績を明らかにし、その治療成績をより安定させることが本研究の目的です。</p>			
⑨ 方法	<p>既存の診療録情報を用いた国内多施設共同の後方視的観察研究です。</p> <p>日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医認定修練施設263施設にアンケート調査を行い、該当期間に肝腫瘍に対して肝静脈の合併切除再建を伴う肝切除を行った症例数を調査します。同時に本研究における症例調査の参加可否についても調査します。参加の同意が得られた施設に対して症例調査を依頼し、データ集積を行います。データ収集においては、連結不可能匿名化の処理を行います。上記期間中に、肝腫瘍に対して肝静脈の合併切除再建を伴う肝切除を受けた方のデータ(年齢・性別など)・画像データ・手術術式/成績および長期予後のデータ収集を行い、それらを統計学的に解析していきます。</p>			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2023年9月27日		
	院長承認日	2023年9月27日		
⑪公表	個人情報保護をうけて、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			

## 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。		
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。		
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。		
⑮問い合わせ	連絡先	尾上 隆司	電話 0823-22-3111(代表)
	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 外科		

呉医療センター院長